

今後の保育所等の整備方針について

平成 30 年 8 月

1. 現状の分析

(1) 市内保育所の現況

① 保育所の設置状況（平成 30 年 4 月 1 日）

公立保育所 10、私立保育所 3、小規模保育事業所 3、事業所内保育事業所 1 で、定員総数は 1,600 名

② 待機児童の現状

- ◆ 平成 30 年 4 月 1 日時点での待機児童はいないものの、年度途中での入所希望には十分対応できていない状態
- ◆ 未就学児の人口自体は減少するものの、女性の就業率上昇等の影響により、特に 3 歳未満児の保育ニーズは増加傾向
- ◆ 市の第 5 次総合計画（H28～37）において人口増を見込んでいること、今後、国の幼児教育・保育の無償化に関する議論の進展などから、さらに需要が高まることが想定される。

(2) 豊明市に関する状況

① 公立保育所の施設の状況

各公立保育所では、最も古いもので築 60 年以上、最も新しいものでも、築 40 年程度が経過しており、いずれも老朽化が著しい状況にある。今後施設の維持については相応の費用が見込まれる。

② 公立保育所の保育士の状況

正規職員の保育士数に対し、非常勤職員数の割合が高く、非常勤職員に依存した運営となっている。

③ 保育関連費の状況

歳出額に占める民生費（扶助費）の割合が増加傾向で、保育関連費用も同様に増加傾向。財政運営上、将来にわたり大きな負担となっている。

2. 豊明市の行財政運営の方向性

市政全体として、以下のように保育事業の持続可能な運営を目指す。

① 民間委託、民営化の面から

- ・指定管理、民間委託など民間活力の活用を進め、効果的、効率的な組織機構の構築を進める。
- ・地域の住民力や民間のノウハウを積極的に活用し、サービス向上を図る。

② 公共施設マネジメントの面から

- ・保有する施設総量の減、統廃合・複合化の促進、官民連携・民間代替性による財源確保などを基本的な考え方として、公共施設のあり方について検討していく。
- ・継続する公共施設やインフラ施設を適切に保全し、長寿命化を図ることによりライフサイクルコストの縮減を目指す。

③ 人員マネジメントの面から

- ・行政課題に対して、迅速かつ的確に対応できる組織体制の構築を図るとともに、定員管理、人材育成に努めていく。
- ・集中改革プラン以降、職員の定数削減に努めてきたところ、人材育成とあわせ、さらに指定管理、民営化、民間委託等を活用していく。

3. 今後の保育所等整備の方向性

(1) 公立保育所の整備

- ◆ 大規模改修、建替え等による将来的な維持コスト増大が懸念されることから、当面は、新設及び増員を伴う大規模改修は行わず、施設の耐用年数等を考慮しながら総量を減少させる。
- ◆ 併せて公立保育所保育士の適正配置についても検討を加え、必要十分な職員の確保を行い、保育サービスの安定的な提供を図る。
- ◆ 維持していく施設については、適切な保守、定期的な改修などにより、長寿命化を図る。また、一時預かり事業や障がい児の受入れ等、多様な保育ニーズに対応可能な整備に努める。

(2) 民間事業者の活用

- ◆ 上記(1)における公立保育所の整備に伴う保育需要の受け皿を担うことを想定し、現状の待機児童対策も含め、民営化等を計画的に行う。
- ◆ 整備補助金など国庫等の各種支援を有効に活用した上で実施する。
- ◆ 利用児童、保護者等への影響が最小限となるよう事前の周知や十分な引継ぎを行う。

【参考資料】

1. 保育所の設置状況（平成30年4月1日）

区分	保育所名	所在地	定員（名）	備考
公立保育園	沓掛保育園	沓掛町森元	119	
〃	青い鳥保育園	三崎町高鴨	174	
〃	二村台保育園	二村台3丁目	150	
〃	館保育園	栄町西大根	142	
〃	中部保育園	新田町門先	195	
〃	内山保育園	栄町内山	60	
〃	東部保育園	沓掛町柿ノ木	68	※H32.4 民間保育所へ移行予定
〃	栄保育園	新栄町二丁目	173	
〃	南部保育園	栄町坂畑	88	
〃	西部保育園	間米町鶴根	90	
私立保育園	むつみ保育園	阿野町西ノ海戸	115	
〃	からたけ保育園	間米町唐竹	115	
〃	マミーナ保育園	新栄町三丁目	30	
小規模保育事業所（A型）	Memorytree 三崎保育園	三崎町中ノ坪	19	H28.8.1～
〃	豊明学園ひまわり保育園	沓掛町山新田	19	H29.4.1～
〃	豊明なかよし保育園	大久伝西	19	H29.4.1～
事業所内保育所	中京サテライト クリニック付属 かなで保育園	沓掛町石畑	24	H30.4.1～

2. 待機児童の状況

待機児童数の 推移（人）	H28.4	H28.10	H29.4	H29.10	H30.4
国基準	2	8	2	14	0
潜在的	34	75	43	107	38

※ 潜在的待機児童とは、特定の保育園を希望している、保育園に預けられず育休を延長しているなど、国基準の待機児童に当てはまらない理由で待機中の児童の数をいいます。

3. 公立保育園の施設の状況

保育所名	構造	建築年	経過年数 (平成 30 年)	劣化状況
沓掛保育園	R C 造	昭和 29 年	63 年	C
青い鳥保育園	R C 造	昭和 46 年	46 年	C
二村台保育園	R C 造	昭和 47 年	45 年	C
館保育園	R C 造	昭和 47 年	45 年	C
中部保育園	R C 造	昭和 48 年	44 年	C
内山保育園	R C 造	昭和 48 年	44 年	C
東部保育園	R C 造	昭和 50 年	42 年	C
栄保育園	R C 造	昭和 50 年	42 年	C
南部保育園	R C 造	昭和 52 年	40 年	C
西部保育園	R C 造	昭和 54 年	38 年	B または C

出展：豊明市公共施設等総合管理計画及び豊明市公共施設長寿命化計画

※ 劣化状況については、公共施設長寿命化計画における、劣化調査および推計

4. 豊明市一般会計決算額及び民生費、保育費の推移

(千円)

決算額（歳出）	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
一般会計総額	17,903,679	18,435,633	19,795,360	20,656,075	20,388,762
うち民生費	7,302,420	7,015,742	7,936,234	7,912,804	8,490,699
うち保育園費	1,326,548	1,241,616	1,342,983	1,375,914	1,488,413